

# サヨナラ COLOR

2005(平成17)年7月21日鑑賞(東映試写室)



監督・脚本・主演＝竹中直人／出演＝原田知世／段田安則／雅子／中島唱子／水田美沙子／中島みゆき／内村光良（ザジフィルムズ配給／2004年日本映画／119分）

……原田知世扮する高校時代の初恋の女性が、今は医者となっている竹中直人のもとに、子宮ガン患者として入院してくるという設定は面白いが、ガン治療の姿にはもうひとつ現実味が……。だって、化学療法を受けた患者は一貫して美しい長い髪のままだし、手術成功の後もあんなに早く元気になるの……。他方、高校時代と現在をオーバーラップさせながら描く2人の結びつきも、感動的なラストに持ち込んではいるものの、多少無理が……。そもそも竹中直人と原田知世が同級生というのはどうみてもムリ。竹中直人が監督・脚本をし自ら主演した映画だが、ちょっと凝りすぎでは……？

## 異才・奇才の竹中直人監督作品だが……？

今の日本映画界の異才・奇才俳優の代表は竹中直人と香川照之の2人だと私は考えている。しかし、竹中直人はその上に『無能の人』（91年）、『119』（94年）、『東京日和』（97年）、『連弾』（01年）で監督としての才能も発揮しているからすごい。この映画は、竹中直人がこれまた多彩な才能を発揮している歌の世界で知り合った「SUPER BUTTER DOG」の名曲で、永積タカシが歌った『サヨナラCOLOR』に触発されてメガホンをとり、完成させたとのこと。その意味で、竹中直人カラーが濃厚な作品となっていることはたしかだが……？

## 同級生という設定はもともとムリ……？

パンフレットには、竹中直人監督は、主演女優の新たな面を引き出すことには定評があり、風吹ジュン、鈴木京香、中山美穂、天海祐希に続いて選んだヒロイ

ンが、原田知世とのこと。そしてプロデューサーの新藤次郎もそれは了解していたものの、竹中直人と原田知世が高校の同級生という設定だから、年齢的にちょっと無理があるのでは、という声が出たらしい。

パンフレットにも「実年齢と役年齢の乖離が問題であった」と書かれている。果たして、その結果はどうだろうか？

私の独断と偏見にもとづく意見では、これはそもそもムリ！ 回想シーンで登場する高校時代の2人の役者はピッタリだが、現実の世界での2人の年齢はあまりにも乖離しており、むしろ「先生と教え子」という感じ……？

### 憧れのマドンナが入院患者としてやってきたら……？

私は愛媛県松山市にある中高一貫教育の進学校である愛光学園の出身だが、この学校は圧倒的に医学部志望が多く、地元松山での開業医の7割は愛光出身者……？ 2002年に創立50周年を迎えた愛光学園は、女子生徒の入学を受け入れるという大転換を果たしたから、何十年後には、愛光学園を卒業したマドンナが、松山で開業している同級生のあなたの病院に入院患者としてやってくるかも。さてそんな時、あなたはどのように対応する……？

### 初恋の人をいつまで……？

この映画の主人公佐々木正平（竹中直人）は、病院に勤めている医師。母子家庭に育ったらしいが、いつどこの大学を卒業して、何の専門の医師をどのくらいしているのかわからないが、ガン治療を担当していることだけはたしか。また、年齢もよくわからないが、結婚していないことはたしか。そして、何とすごいことに、今でも高校時代の初恋の人だった笈川未知子（原田知世）のことを想い続けている……。

誰しも初恋の思い出はあるはずだが、長い年月が経つうちに、それぞれ自分の好きな人を見つけて結婚していくのが現実。初恋の人が、たまたま自分の勤めている病院に入院してくるという設定はまあいいとしても、今でもその彼女のことばかりを想っているという設定にはちょっとムリがあるのでは……？

## 主人公の女性観は少しヘン？

佐々木正平はこんな一途な(?)女性観を持っているようだが、実生活での女性関係や女性観は……？ 映画ではかなりオブラートに包んでいるものの、正平が通いマッサージ(?)をしてもらっている居酒屋の太目の女将の聖子(中島唱子)とは、当然「男女関係あり」と見るべき。そして、その関係は何ともビミョー……？ さらに、電車の中で携帯をかけていた女子高生の沢井まなみ(水田美美子)に対して注意をした正平が逆に仕返しをされる場所は「笑い話」だが、「おじさん、エンコー(援交)しない？」と声をかけられた正平は……？ さらに、病院内の看護婦の話では、この先生はよく看護婦のお尻をさわららしい……。こんな正平のキャラや女性観はちょっとヘン……？

## マドンナの男性観は？

正平が勤める病院に子宮ガンで入院してきたのが、正平と同級生で高校時代のマドンナだった笈川未知子。未知子も結婚していないが、「同居人」の鈴木雅夫(段田安則)がいる。未知子の「仕事」はガラス細工のランプをつくることらしいが、それによってどれほどの収入があり、どんな生活をしているのかもよくわからない。また、なぜ今まで独身でいたのか、なぜ雅夫とふつうの結婚をしないのか？ さらに、同窓会で集まった時の、「実は私は高校生の時、田村先生が好きでした」との告白にはビックリ。さらに驚くのは、彼女が語る田村先生の魅力は「性的魅力」と「不良性」だということから、二重にビックリ。どうやらこの未知子も平凡な結婚をして家庭に入るといったタイプの女性ではないみたい……。そんな未知子が、手術の直前に主治医として全力を傾けて治療にあたってくれる正平に対して告白した言葉は……？ こんなマドンナの男性観についても十分注目してみたいものだ。

## プレイボーイの雅夫も少しヘン……？

未知子が「同居」している鈴木雅夫は「フランス帰りの売れっ子スタイリスト」で、結構有名らしいが、はっきり言って女にだらしない男。というよりも

「女たらし」……？ 未知子が入院している部屋にお見舞いにはきたものの、既に職場では次のオンナのあき子（雅子）とイチャイチャ……？ もちろん雅夫は未知子に内緒でうまくやっているつもりだが、女のカンはそんなに甘いものではない。未知子はすべてお見通しのように……？ 不思議なのは、こんなプレイボーイの雅夫と未知子が本気で（？）同居していたらしいこと……？

## 大ショックの正平だが……？

小学校の同級生は覚えていなくても、高校の同級生となれば、同じクラスの奴くらいは全部覚えているもの。しかし、残念ながら未知子は正平のことを全く覚えていないらしい。これには正平は大ショック……。未知子のベッドを訪れるたびに「ボクのことを思い出していただけますか？」といろいろなネタを打ち出して語りかけていく正平だが、未知子は無反応。しかし、ある時、あることから突然正平のことを思い出した。その思い出とは……？

## 告知すべきか？ 同級生の手術は？

私は現在医療過誤の事件を2件扱っているが、難しいのは「インフォームドコンセント」のやり方。その初歩的なテーマ（？）が、「ガンを告知すべきか否か？」ということだが、その点について、この映画でみせる医師としての正平の対応は正当なもの。これに対して雅夫は、「あなたから告知しますか、それとも私から……？」と質問する正平に対して、「私から……イヤ先生から……イヤやっぱり私から……？」と煮え切らない。そのため、結局は正平から告知することに……。また、医師と患者が親族であったり、親しい友人である場合、その患者の手術をその医師がやるべきか否かは難しい問題。とりわけ手術の成功の確率が50%という場合は難しい。この映画では、正平は当初自分が未知子の手術をすと宣言していたが、実際は……？

## 後半は興味深い展開に……？

昔からよく「医者の不養生」と言われているが、医者だって人間だから、そうそう聖人君子のような生活をしているわけではない。〇〇歳まで独身で、居酒屋

の女将に腰を指圧してもらって「サイコー！」と言っているうちはよかったが、実は正平は……？ 不養生はしていても正平は医者だから自分の身体のことにはわかっていて当然。ここらあたりから、個性派俳優竹中直人の面目躍如たる面が顕著に……。興味深い展開になる後半における、この異能俳優の演技をじっくりと楽しみたいものだ。

## 美しい海の風景にも注目！

正平が勤める病院は海を臨むところにあるというのがこの映画の重要な設定。だから病院を抜け出して散歩したり、1人静かにモノ思いにふけるのは、この海岸ということになる。パンフレットによると、この映画を撮影したのは北鎌倉で、久里浜の病院や九十九里の海岸を活用したとのこと。この海岸でのいくつかのシーンはすごく美しく印象に残るもの。貝を拾うシーンや『メッセージ・イン・ア・ボトル』（99年）ばりのシーン、さらには何と自然に戻って海岸で正平が立ちションをし、未知子が〇〇するシーンなどは、さすが竹中直人監督の豊かな才能がチラホラ……？

## 中島みゆきと内村光良の登場にビックリ！

この映画には竹中直人監督の幅広い人脈による異色な人物がたくさん登場する。その第1が歌手の中島みゆき。さて彼女はどんな役柄で、どんな場面で登場するのか、大注目！ さらに、あの「ウッチャンナンチャン」の内村光良がエラク真面目な役で登場するので、これも少しは注目！

## ラストは絶品！

「終わりよければすべてよし」という格言があるとおり、映画ではラストが非常に大切。そして、ラストを印象づける主なテクニックは風景と音楽が多い。この映画のラストの風景は美しい九十九里の海岸。そしてバックに流れる音楽は「SUPER BUTTER DOG」の永積タカシによる『サヨナラ COLOR』の印象に残るメロディーと歌声。このラストは絶品だよ！

2005(平成17)年7月22日記